

理学部 教育の方針

教育の基本的目標

理学部は、数学、物理学、化学、生物学、地球科学の各分野でなされる最先端の研究を基盤とした教育を通し、学生が自然科学の専門知識と技能、考え方を修得し、それらを生かして“知の創成”に主体的に参画し得る専門力と探究力を身に付けることを目指します。また、探究活動における学生同士や教職員との密接な対話や議論を通して相互理解を深めるコミュニケーション力を高め、さらには主体的な学習姿勢、創造的思考、分析能力、豊かな人間性などの教養力を醸成します。これらの能力を活かして、科学的な知識と考え方で課題解決に取り組む、国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る総合的能力と人格、すなわち実践力を備えた人材の育成を目標とした教育を行います。

養成する人材像

教育の基本的目標に基づき、実践力・探究力・コミュニケーション力・専門力・教養力を備え、科学的な知識と考え方で新たな価値創造と世界の革新に貢献できる「主体的に変容し続ける先駆者」を養成します。

身につけた自然科学の知と科学的な探究力を活かして、自ら学び自ら行動する実践者

以下の、5つの力を持つ人材を養成します。

- 自ら進んで、課題解決に挑む実践力
- 自ら問うて、課題を見出す探究力
- 語り聴くことを通して、差異から学ぶコミュニケーション力
- 基礎的かつ体系的な専門力
- 自然や社会に関心を持ち、学びを習慣化する力（教養力）

これを踏まえ各学科が具体的に掲げる「養成する人材像」は以下の通りです。

数学科：現代数学の成り立ちを踏まえた高度な思考能力を身につけ、将来大学院へ進学して学問の進歩に貢献できる人材、教員となり数学の考え方を生徒に伝える人材、企業や公官庁等で活躍できる人材

物理学科：物理学の基本概念と方法論を修得することにより、科学の発展に寄与し、社会に貢献できる人材

化学科：あらゆる物質を対象とし、その物性、構造、反応についての実験と理論に関する教育を通じて、広い視野と高い研究能力を身につけ、専門知識を生かして新しい分野に積極的に挑戦できる研究者、並びに、教育など社会の諸分野で活躍できる人材

生物学科：現代生物学の基礎知識と生命現象を多様な視点から解析する能力を身につけ、

その知識と能力を活用して社会と科学の発展に貢献できる人材

地球科学科：自然科学の様々な分野の知識をもとに地学現象について研究する能力を修得

し、地球科学に関連した課題の解決に寄与できる人材

卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）

理学部は、先に掲げた人材を養成するため、所定の期間在学し、以下に掲げる力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

修得できる力：実践力・探究力・コミュニケーション力・専門力・教養力

【実践力】自ら進んで、課題解決に挑む実践力

課題と向き合い、国際的な舞台で、科学的な知識と考え方で解決に向けて行動することができる。

【探究力】自ら問うて、課題を見出す探究力

多角的な視点で対象を把握し、論理的思考により課題を明らかにすることができる。

【コミュニケーション力】語り聴くことを通して、差異から学ぶコミュニケーション力

科学的な考え方で論理的な説明ができ、他者との議論を通して物事を理解し自らを高めることができる。

【専門力】基礎的かつ体系的な専門力

各学科それぞれの専門分野を学ぶことによって、様々な自然現象の背後にある普遍的な法則や原理を理解するとともに、修得した知識や技能を体系的に組み立て、様々な問題を発見し、その解決に意欲的に取り組むことができる。

【教養力】自然や社会に関心を持ち、学びを習慣化する力（教養力）

自然や社会のさまざまな事象に好奇心を持ち主体的に学び続けることができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）で掲げた力を修得した人材を養成するため、理学部として以下の方針及び考え方にに基づき、教育課程を編成し、実践します。

教育の実施方針

持続可能社会の実践に向けて学生が主体的に学び成長し続ける能力を育成する教育を実施します。

教育内容の考え方

主体的・対話的で深い学びの視点から、「教員が何を教えたか」から「学生が何をできるようになったか」を重視して、以下の教育内容を提供します。

【共通教育】

全ての学生に共通して求められる汎用的技能の育成を目指し、他の学生と学び合う、共に育ち共に創る実践的な活動を提供します。

自身の考えと異なる人との対話や協働を進めるために必要な知識や技能を身につけるカリキュラムを提供します。

【専門教育】

専門領域の内容を体系的に提供することによる深い理解と、異なる専門領域の知識を統合したり、創造したりすることができる機会を提供します。

専門科目においては、専門分野の知識や技能を初年次から体系的に修得します。さらに、修得した専門知識を自ら実践・確認し、より深く理解できるようにするための演習や実験、課題研究に取組み、社会の要請に応える自然科学の専門知識と課題発見・問題解決の実践的な能力を身につけます。また、専門基礎科目や理学部共通科目などにおいては、異なる専門領域にまたがる統合的、学際的な知識や技能を身につける機会も提供します。

【言語教育】

グローバル社会を生きるうえで必要とされる語学力を伸ばす教育を提供します。

聞く、読む、話す、書くを統合した総合力を伸ばすために必要な英語を、異文化理解の科目群を通じて言語を学ぶ初修外国語を、留学生には日本語を、それぞれ学ぶ機会を提供します。専門教育においても、専門分野の学びや研究活動を、英語を用いて実践する機会を提供します。

教育方法の考え方

前述の教育内容を以下の方法で提供します。

- ① 理学部では、各学科とも専門分野を体系的に学ぶため4年間の一貫した教育コースを設定しています。また、各学科の開講科目を中心に履修し高い専門性を習得するための「専門カプログラム」の他に、科学の最先端で活躍できる研究者・技術者・教育者を目指すための「フロンティアプログラム」（フロンティアコース、フロンティアサイエンティスト特別コース）、学科横断的に学際領域を幅広く学び新しい研究分野で活躍することを目指す「学際プログラム」（理学系数理・データサイエンスコース、複合領域科学コース）を加えた3プログラムを設定し、学修者は個々の志望に合わせた主体的な学びでディグリー・ポリシーに掲げる学士力を身につけていきます。
- ② 各学科の履修プログラムで定められた卒業要件を満たすように、1年次から4年次までの必修科目・選択必修科目・選択科目を履修することにより、各学科の専門分野の知識や技能・考え方を修得します。専門分野の教育では、講義に加え、演習・実験・実習・ゼミナールなどの少人数教育の利点を生かした実践的な授業も多数設定されており、専門科目で修得した知識を自ら実践・確認し、より深く理解できるような教育内容となっています。
- ③ 学部教育の集大成として4年次で履修する「課題研究」は、配属された研究室において個々の課題の研究やゼミナールを中心とした密度の濃い専門教育を通して、先端的な研究を自ら実施することで、社会の要請に応える自然科学の専門知識と課題発見・問題解決の実践的な能力を獲得できる内容になっています。なお、理学部では、卒業要件単位の他に、「課題研究」を履修するために必要な単位数を設定しています。これは汎用性のある専門知識と論理的な知識の体系化ができてこそ、専門分野における未知の課題に挑戦できるからです。

学修評価の考え方

授業科目の成績評価については、その基準・方法を予め明示し、それらに基づいて学修成果を評価します。

正課外教育の考え方

学生が授業での学びを越えて自らの成長を実感できる正課外の活動を推奨します。

理学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

理学部は、以下に掲げた力を身につけた人材を求めます。

求める人材像

岡山大学の求める人材像である「先人の築いた知から課題に迫る実践力、課題と自らの考えを結びつける探究力、自らの課題や構想を分かり易く表現できる力、自然や社会に関する基礎的な知識と語学力、学びそのものへの興味を持ち工夫できる力を身につけている人材」を基本として、次のような学生を求めています。

1. 自然科学の基礎を学び、その知識や能力を社会で活かしたいと考える人
2. 自然現象を原理や法則から理解したいと考える人
3. 真理探究への情熱をもっている人

求める力

岡山大学及び理学部が掲げる「教育目標における5つの力」を達成しうる資質として、次の力を求めます。

【実践力】

身につけた科学的な知識と考え方から課題解決に向け行動する力

【探究力】

自然科学の探究に情熱を持ち、課題に対する自らの考えを導き出す力

【コミュニケーション力】

自らの考えを科学的に分かり易く表現し議論を深める力

【専門力】

自然科学の専門分野の学びに必要な数学・理科・英語に関する基礎的な学力

【教養力】

自然や社会に関心を持ち主体的に学ぶ力

理学部の選抜方針

各学科それぞれで、専門分野に応じた力を発揮できる人材の選抜を目指します。さらに、幅広く多様な人材を確保するため、複数の試験及び日程の入試を実施します。

理学部の選抜方法

学力検査、面接、書類審査などによる試験のいずれかを、あるいは組み合わせを行い、本

学での学修に足る学力と適性を測ります。

選抜方針・各選抜方法の具体的な考え方

各学科のアドミッション・ポリシーを参照ください。

入学者選抜と、学力の3要素との関係

各学科のアドミッション・ポリシーを参照ください。

入学前に学習しておくことが期待される内容

各学科のアドミッション・ポリシーを参照ください。

理学部数学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

理学部の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を踏まえて、理学部数学科は、以下に掲げた力を身につけた人材を求めます。

求める人材像

岡山大学の求める人材像である「先人の築いた知から課題に迫る実践力、課題と自らの考えを結びつける探究力、自らの課題や構想を分かり易く表現できる力、自然や社会に関する基礎的な知識と語学力、学びそのものへの興味を持ち工夫できる力を身につけている人材」を基本として、次のような学生を求めています。

1. 大学において数学を学ぶための基礎学力を備えている人
2. 数学に対する熱意を持っている人
3. 自らの考えを論理的に表現できる人

求める力

岡山大学及び理学部が掲げる「教育目標における5つの力」を達成しうる資質として、次の力を求めます。

【実践力】

身につけた科学的な知識と考え方から課題解決に向け行動する力

【探究力】

数学の探究に情熱を持ち、課題に対する自らの考えを導き出す力

【コミュニケーション力】

自らの考えを科学的に分かり易く表現し議論を深める力

【専門力】

数学科での学びに必要な数学・理科・英語に関する基礎的な学力

【教養力】

自然や社会に関心を持ち主体的に学ぶ力

理学部数学科の選抜方針

数学の専門分野に応じた力を発揮できる人材の選抜を目指します。さらに、幅広く多様な人材を確保するため、複数の試験及び日程の入試を実施します。

理学部数学科の選抜方法

学力検査、面接、書類審査などによる試験のいずれかを、あるいは組み合わせて行い、本学での学修に足る学力と適性を測ります。

選抜方針・各選抜方法の具体的な考え方

- ・一般選抜（前期日程）

高校卒業程度の基礎知識を身につけているとともに、特に数学、理科、外国語について十分な基礎学力を有する人を選抜します。大学入学共通テストでは、6教科8科目の試験を課して幅広い基礎学力を評価し、個別学力検査では、数学、理科（2科目）、外国語（英語）を課して数学を学ぶ上で必要な基礎学力を総合的に評価します。

- ・総合型選抜

高校卒業程度の基礎知識を身につけているとともに、数学に対する知的好奇心や探求心を有する人を選抜します。調査書・自己推薦書の審査及び面接（口述試験を含む）により、大学で学ぶ専門領域についての関心と理解度、自己表現力、コミュニケーション能力など、数学を学ぶ上での適性を評価します。さらに、3教科5科目の大学入学共通テストを課し、高等学校卒業レベルの総合的な基礎学力を評価します。

- ・私費外国人留学生選抜

高校卒業程度の基礎知識を身につけているとともに、数学に対する知的好奇心や探求心を有する人を選抜します。日本留学試験では理科（物理、化学、生物から2科目選択）、数学、日本語を課して基礎学力を評価します。個別学力検査では（数学、理科（1科目）、外国語（英語））を課して幅広い基礎学力を評価し、面接（口述試験を含む）では、数学を学ぶための意欲の高さと適性を評価します。

- ・国際バカロレア選抜

面接（口述試験を含む）及び書類審査により、成績評価証明書、自己推薦書、評価書を通じて、基礎学力、自己表現力、意欲を評価します。

- ・その他（第3年次編入学試験）

筆記試験では、大学1、2年次程度の微積分及び行列と行列式について、基礎的な理解及び論理的思考能力を評価します。面接（口述試験を含む）では、志望理由、数学に対する基礎知識を問う質問（筆記試験の内容を含みうる）により、数学を学ぶための意欲の高さと適性を評価し、本学の2年生相当の学力があることを確かめます。また、外国語（英語）能力を問うこともあります。なお、推薦入試では筆記試験が免除されます。

入学者選抜と、学力の3要素との関係

入試区分	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
一般選抜（前期日程）	○	大学入学共通テスト	◎	個別学力検査（数学、理科、外国語（英語））	☆	調査書
総合型選抜（大学入学共通テストを課す）	◎	大学入学共通テスト	◎	面接（口述試験を含む）	☆	面接（口述試験を含む）、調査書、自己推薦書
私費外国人留学生選抜	◎	日本留学試験	◎	個別学力検査（数学、理科、外国語（英語））、面接（口述試験を含む）	☆	面接（口述試験を含む）
国際バカロレア選抜	◎	成績評価証明書、自己推薦書、評価書	◎	面接（口述試験を含む）	☆	面接（口述試験を含む）

（注）◎は特に重視する要素、○は重視する要素、☆は総合的な判断の材料となる要素
各要素に対する資料は、「主とする資料」であり、それ以外の要素でも活用する場合がある。

入学前に学習しておくことが期待される内容

入学後の学修のため、数学科では以下の科目（理科については2科目以上）の内容を修得していることが望まれます。

【数学：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C】

【物理：物理基礎、物理】、【化学：化学基礎、化学】、【生物：生物基礎、生物】、【地学：地学基礎、地学】

【外国語（英語）：英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ】

理学部物理学科 入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

理学部の「入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）」を踏まえて、理学部物理学科は、以下に掲げた力を身につけた人材を求めます。

求める人材像

岡山大学の求める人材像である「先人の築いた知から課題に迫る実践力、課題と自らの考えを結びつける探究力、自らの課題や構想を分かり易く表現できる力、自然や社会に関する基礎的な知識と語学力、学びそのものへの興味を持ち工夫できる力を身につけている人材」を基本として、次のような学生を求めています。

1. 自然科学の基礎としての物理や進展する情報科学を学び、研究に活かしたいと考える人
2. 物理学の基本法則を学び、その法則を用いて様々な自然現象を理解したいと考える人
3. 知識を発展させ、持続可能な社会のために活かしたいと考える人

求める力

岡山大学及び理学部が掲げる「教育目標における5つの力」を達成しうる資質として、次の力を求めます。

【実践力】

身につけた科学的な知識と考え方から課題解決に向け行動する力

【探究力】

物理学の探究に情熱を持ち、課題に対する自らの考えを導き出す力

【コミュニケーション力】

自らの考えを科学的に分かり易く表現し議論を深める力

【専門力】

物理学科での学びに必要な数学・理科・英語に関する基礎的な学力

【教養力】

自然や社会に関心を持ち主体的に学ぶ力

理学部物理学科の選抜方針

物理学の専門分野に応じた力を発揮できる人材の選抜を目指します。さらに、幅広く多様な人材を確保するため、複数の試験及び日程の入試を実施します。

理学部物理学科の選抜方法

学力検査、面接、書類審査などによる試験のいずれかを、あるいは組み合わせて行い、本学での学修に足る学力と適性を測ります。

選抜方針・各選抜方法の具体的な考え方

・一般選抜（前期日程）

大学における教養教育を受けるために必要な基礎学力と幅広い知識に加え、物理学の専門教育を受ける上で必要な数学・理科・外国語（英語）について必要十分な学力を有する人を選抜します。大学入学共通テストでは、6教科8科目の試験を課すことにより、基礎学力を検査します。個別学力検査では、物理を含む理科2科目と数学・外国語（英語）を課し、基礎学力を総合的に評価します。

・総合型選抜

大学における教養教育を受けるために必要な基礎学力と幅広い知識に加え、物理学の専門教育を受ける上で必要な学力と学習意欲・熱意を持つ人を選抜します。調査書・自己推薦書の審査及び面接（口述試験を含む）により、大学で学ぶ専門領域についての関心と理解度、自己表現力、コミュニケーション能力など、物理学を学ぶ上での適性を評価します。さらに、3教科5科目の大学入学共通テストを課し、高等学校卒業レベルの総合的な基礎学力を評価します。

・私費外国人留学生選抜

大学における教養教育を受けるために必要な基礎学力と幅広い知識に加え、物理学の専門教育を受ける上で必要な学力と学習意欲・熱意を持つ人を選抜します。日本留学試験では理科（物理を含む2科目）、数学、日本語を課して基礎学力を評価します。個別学力検査においては、数学・理科（物理）・外国語（英語）の学力検査により学力を評価し、面接（口述試験を含む）により物理学を学ぶ上での学習意欲と熱意を評価します。

・国際バカロレア選抜

大学における教養教育を受けるために必要な基礎学力と幅広い知識に加え、物理学の専門教育を受ける上で必要な基礎学力と学習意欲を持つ人を選抜します。成績評価書・自己推薦書・評価書を通じた書類審査及び面接により、基礎学力・自己表現力・学習意欲を評価します。

・その他（第3年次編入学試験）

本学の教養教育に相当する教育を既に受け、物理学に関する専門科目に関しても大学1、2年次の水準の知識を既に修得していることに加え、高年次の専門教育を受ける上で必要な基礎学力と学習意欲を持つ人を選抜します。面接（口述試験を含む）では、物理および英語に関する基礎知識の口述試験を含み、科学的思考力、表現力、学習意欲および適正を総合的に評価します。

入学者選抜と、学力の3要素との関係

入試区分	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
一般選抜（前期日程）	○	大学入学共通テスト	◎	個別学力検査（数学、理科、外国語（英語））	☆	調査書
総合型選抜（大学入学共通テストを課す）	◎	大学入学共通テスト	◎	面接（口述試験を含む）	☆	面接（口述試験を含む）、調査書、自己推薦書
私費外国人留学生選抜	◎	日本留学試験	◎	個別学力検査（数学、理科、外国語（英語））、面接（口述試験を含む）	☆	面接（口述試験を含む）
国際バカロレア選抜	◎	成績評価証明書、自己推薦書、評価書	◎	面接	☆	面接

（注）◎は特に重視する要素、○は重視する要素、☆は総合的な判断となる要素

各要素に対する資料は、「主とする資料」であり、それ以外の要素でも活用する場合があります。

入学前に学習しておくことが期待される内容

入学後の学修のため、物理学科では、以下の科目（理科については物理を含む2科目以上）の内容を修得していることが望めます。

【数学：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C】

【物理：物理基礎、物理】、【化学：化学基礎、化学】、【生物：生物基礎、生物】、【地学：地学基礎、地学】

【外国語（英語）：英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ】

理学部化学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

理学部の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を踏まえて、理学部化学科は、以下に掲げた力を身につけた人材を求めます。

求める人材像

岡山大学の求める人材像である「先人の築いた知から課題に迫る実践力、課題と自らの考えを結びつける探究力、自らの課題や構想を分かり易く表現できる力、自然や社会に関する基礎的な知識と語学力、学びそのものへの興味を持ち工夫できる力を身につけている人材」を基本として、次のような学生を求めています。

1. 化学および関連分野の基礎的事項を修得し、それらを体系的に組み立てながら科学の未踏分野に挑み、その解明に貢献しようとする人
2. 新規な機能をもつ物質の創製や新しい化学的手法に基づいて、地球温暖化・環境・エネルギー資源など人類が直面している問題の解決に意欲をもつ人

求める力

岡山大学及び理学部が掲げる「教育目標における5つの力」を達成しうる資質として、次の力を求めます。

【実践力】

身につけた科学的な知識と考え方から課題解決に向け行動する力

【探究力】

化学の探究に情熱を持ち、課題に対する自らの考えを導き出す力

【コミュニケーション力】

自らの考えを科学的に分かり易く表現し議論を深める力

【専門力】

化学科での学びに必要な数学・理科・英語に関する基礎的な学力

【教養力】

自然や社会に関心を持ち主体的に学ぶ力

理学部化学科の選抜方針

化学の専門分野に応じた力を発揮できる人材の選抜を目指します。さらに、幅広く多様な人材を確保するため、複数の試験及び日程の入試を実施します。

理学部化学科の選抜方法

学力検査、面接、書類審査などによる試験のいずれかを、あるいは組み合わせて行い、本学での学修に足る学力と適性を測ります。

選抜方針・各選抜方法の具体的な考え方

- ・一般選抜（前期日程）

高校卒業程度の基礎学力と幅広い知識に加え、化学・数学・英語について十分な学力を有する人を選抜します。大学入学共通テストでは6教科8科目を課して基礎学力を評価し、個別学力検査では化学を含む理科2科目・数学・外国語（英語）を課して、より専門的な学力を総合的に評価します。

- ・総合型選抜

高校卒業程度の基礎学力と幅広い知識を有し、自然の仕組みや基本法則に興味を持つ人を選抜します。調査書・自己推薦書の審査及び面接（口述試験を含む）により、大学で学ぶ専門領域についての関心と理解度、自己表現力、コミュニケーション能力など、化学を学ぶ上での適性を評価します。さらに、3教科5科目の大学入学共通テストを課し、高等学校卒業レベルの総合的な基礎学力を評価します。

- ・私費外国人留学生選抜

高校卒業程度の基礎学力と幅広い知識を有し、自然の仕組みや基本法則に興味を持つ人を選抜します。日本留学試験では化学を含む理科2科目・数学・日本語を課して基礎学力を評価します。個別学力検査では理科（化学）・数学・外国語（英語）を課して、より専門的な学力とともに、面接（口述試験を含む）により意欲の高さと適性を評価します。

- ・国際バカロレア選抜

成績評価証明書、自己推薦書、評価書により書類審査を行い、国際感覚に優れ、学生生活でグループのリーダーとして活躍できる人や、コミュニケーション能力、問題解決能力、論理的思考力に優れた人を選抜します。特に、化学を学ぶための基礎学力と意欲の高さ、自己表現力を評価します。

- ・その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校または短期大学卒業程度、もしくは大学2年次程度の基礎学力と幅広い知識を有し、自然の仕組みや基本法則に興味を持つ人を選抜します。一般入試では、書類審査および面接（化学および英語に関する口述試験を含む）により、基礎学力とともに化学を学ぶための意欲の高さと適性を評価します。推薦入試では、書類審査および面接（口述試験を含む）により、勉学意欲、学習能力および適性を総合的に評価します。

入学者選抜と、学力の3要素との関係

入試区分	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
一般選抜(前期日程)	○	大学入学共通テスト	◎	個別学力検査(数学、理科、外国語(英語))	☆	調査書
総合型選抜(大学入学共通テストを課す)	◎	大学入学共通テスト	◎	面接(口述試験を含む)	☆	面接(口述試験を含む)、調査書、自己推薦書
私費外国人留学生選抜	◎	日本留学試験	◎	個別学力検査(数学、理科、外国語(英語))、面接(口述試験を含む)	☆	面接(口述試験を含む)
国際バカロレア選抜	◎	成績評価証明書、自己推薦書、評価書	◎	成績評価証明書、自己推薦書、評価書	☆	成績評価証明書、自己推薦書、評価書

(注) ◎は特に重視する要素、○は重視する要素、☆は総合的な判断となる要素

各要素に対する資料は、「主とする資料」であり、それ以外の要素でも活用する場合がある。

入学前に学習しておくことが期待される内容

入学後の学修のため、化学科では、以下の科目(理科については化学を含む2科目以上)の内容を修得していることが望まれます。

【数学：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C】

【物理：物理基礎、物理】、【化学：化学基礎、化学】、【生物：生物基礎、生物】、【地学：地学基礎、地学】

【外国語(英語)：英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ】

理学部生物学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

理学部の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を踏まえて、理学部生物学科は、以下に掲げた力を身につけた人材を求めます。

求める人材像

岡山大学の求める人材像である「先人の築いた知から課題に迫る実践力、課題と自らの考えを結びつける探究力、自らの課題や構想を分かり易く表現できる力、自然や社会に関する基礎的な知識と語学力、学びそのものへの興味を持ち工夫できる力を身につけている人材」を基本として、次のような学生を求めています。

1. 生物学に興味を持ち、積極的に生物に関する基礎知識を学び、様々な生命現象の本質を理解する意欲がある人
2. 個人が持つそれぞれの独創的な発想能力を活かして、研究を推進したいと思っている人
3. 生命科学研究の知識、解析技術や考え方を社会で活かしたいと考えている人

求める力

岡山大学及び理学部が掲げる「教育目標における5つの力」を達成しうる資質として、次の力を求めます。

【実践力】

身につけた科学的な知識と考え方から課題解決に向け行動する力

【探究力】

生物学の探究に情熱を持ち、課題に対する自らの考えを導き出す力

【コミュニケーション力】

自らの考えを科学的に分かり易く表現し議論を深める力

【専門力】

生物学科での学びに必要な数学・理科・英語に関する基礎的な学力

【教養力】

自然や社会に関心を持ち主体的に学ぶ力

理学部生物学科の選抜方針

生物学の専門分野に応じた力を発揮できる人材の選抜を目指します。さらに、幅広く多様な人材を確保するため、複数の試験及び日程の入試を実施します。

理学部生物学科の選抜方法

学力検査、面接、書類審査などによる試験のいずれかを、あるいは組み合わせて行い、本学での学修に足る学力と適性を測ります。

選抜方針・各選抜方法の具体的な考え方

- ・一般選抜（前期日程）

高校卒業程度の基礎知識を幅広く身につけ、十分な学力を有する人を選抜します。大学入学共通テストでは、6教科8科目の試験を課し、個別学力検査では、理科2科目と数学、外国語（英語）を課して基礎学力を総合的に評価します。

- ・学校推薦型選抜Ⅰ

高校卒業程度の基礎知識を幅広く身につけ、十分な学力を有する人を選抜します。書類審査（調査書・推薦書・志望理由書）、総合問題、面接（口述試験を含む）の結果を総合的に評価します。総合問題では、生物学を学ぶ上で重要な論理的思考力、読解力、表現力を評価します。面接（口述試験を含む）では、大学で学ぶ専門領域についての関心や理解度、自己表現力、コミュニケーション能力など、生物学を学ぶ上での適性を評価します。

- ・私費外国人留学生選抜

日本留学試験では理科（化学、生物）、数学、日本語の成績をもとに、高校卒業程度の基礎知識を幅広く身につけ、授業を日本語で受けられる程度の日本語能力を有する人を選抜します。また、面接（口述試験を含む）により、生物学を学ぶための意欲の高さと適性を総合的に評価します。

- ・国際バカロレア選抜

書類審査により、成績評価証明書、自己推薦書、評価書を通して、基礎学力、自己表現力、意欲を評価します。

- ・その他（第3年次編入学試験）

英語能力試験の成績証明書により英語の能力を評価します。面接（口述試験を含む）では、生物学を学ぶための意欲、大学1、2年次程度の生物学に関する基礎的理解と論理的思考能力を評価します。推薦入試では、書類審査及び面接（口述試験を含む）により、勉学意欲、学習能力及び適性を総合的に評価します。

入学者選抜と、学力の3要素との関係

入試区分	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
一般選抜（前期日程）	○	大学入学共通テスト	◎	個別学力検査（数学、理科、外国語（英語））	☆	調査書
学校推薦型選抜Ⅰ	○	総合問題、調査書	◎	総合問題、面接（口述試験を含む）	☆	面接（口述試験を含む）、調査書、推薦書、志望理由書
私費外国人留学生選抜	◎	日本留学試験	◎	日本留学試験 面接（口述試験を含む）	☆	面接（口述試験を含む）
国際バカロレア選抜	◎	成績評価証明書、自己推薦書、評価書	◎	成績評価証明書、自己推薦書、評価書	☆	成績評価証明書、自己推薦書、評価書

（注）◎は特に重視する要素、○は重視する要素、☆は総合的な判断となる要素

各要素に対する資料は、「主とする資料」であり、それ以外の要素でも活用する場合があります。

入学前に学習しておくことが期待される内容

入学後の学修のため、生物学科では、以下の科目（理科については2科目以上）の内容を修得していることが望まれます。

【数学：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C】

【物理：物理基礎、物理】、【化学：化学基礎、化学】、【生物：生物基礎、生物】、【地学：地学基礎、地学】

【外国語（英語）：英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ】

理学部地球科学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

理学部の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を踏まえて、理学部地球科学科は、以下に掲げた力を身につけた人材を求めます。

求める人材像

岡山大学の求める人材像である「先人の築いた知から課題に迫る実践力、課題と自らの考えを結びつける探究力、自らの課題や構想を分かり易く表現できる力、自然や社会に関する基礎的な知識と語学力、学びそのものへの興味を持ち工夫できる力を身につけている人材」を基本として、次のような学生を求めています。

1. 地球惑星科学を探究するための基礎学力（物理、化学、数学）を備えている人
2. 地球の歴史や地球の内外で起こる諸現象に強い関心を持っている人
3. 粘り強く物事に取り組むことができる人

求める力

岡山大学及び理学部が掲げる「教育目標における5つの力」を達成しうる資質として、次の力を求めます。

【実践力】

身につけた科学的な知識と考え方から課題解決に向け行動する力

【探究力】

地球科学の探究に情熱を持ち、課題に対する自らの考えを導き出す力

【コミュニケーション力】

自らの考えを科学的に分かり易く表現し議論を深める力

【専門力】

地球科学科での学びに必要な数学・理科・英語に関する基礎的な学力

【教養力】

自然や社会に関心を持ち主体的に学ぶ力

理学部地球科学科の選抜方針

地球科学の専門分野に応じた力を発揮できる人材の選抜を目指します。さらに、幅広く多様な人材を確保するため、複数の試験及び日程の入試を実施します。

理学部地球科学科の選抜方法

学力検査、面接、書類審査などによる試験のいずれかを、あるいは組み合わせて行い、本

学での学修に足る学力と適性を測ります。

選抜方針・各選抜方法の具体的な考え方

・一般選抜（前期日程）

高校卒業程度の基礎知識を幅広く身につけ、数学・理科・英語について十分な学力を有する人を選抜します。大学入学共通テストでは、6教科8科目の試験を課して基礎学力を評価し、個別学力検査では、数学・理科2科目（物理・化学・生物より選択）・外国語（英語）を課して、地球科学を学ぶ上で必要な基礎学力を総合的に評価します。

・総合型選抜

高校卒業程度の基礎知識を幅広く身につけ、地球の歴史と地球内外で起こる諸現象に強い関心を持っている人を選抜します。調査書・自己推薦書の審査及び面接（口述試験を含む）により、大学で学ぶ専門領域についての関心と理解度、自己表現力、コミュニケーション能力など、地球科学を学ぶ上での適性を評価します。さらに、3教科5科目の大学入学共通テストを課し、高等学校卒業レベルの総合的な基礎学力を評価します。

・私費外国人留学生選抜

高校卒業程度の基礎知識を幅広く身につけ、地球の歴史と地球内外で起こる諸現象に強い関心を持っている人を選抜します。日本留学試験では理科（物理、化学、生物から2科目選択）、数学、日本語を課して基礎学力を評価します。個別学力検査では、外国語（英語）、数学、理科（物理、化学から1科目選択）を課し、面接（口述試験を含む）により地球科学を学ぶための基礎学力と意欲、適性を評価します。

・国際バカロレア選抜

書類審査により、成績評価証明書、自己推薦書、評価書を通して、基礎学力、自己表現力、意欲を評価します。

・その他（第3年次編入学試験）

地球科学の基礎となる分野（物理、化学の中から選択）と数学及び英語の基礎学力についての口述試験を行い、また、面接により勉学意欲、学習能力、地球科学を学ぶための適性を総合的に評価します。

入学者選抜と、学力の3要素との関係

入試区分	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
一般選抜（前期日程）	○	大学入学共通テスト	◎	個別学力検査（数学、理科2科目、外国語（英語））	☆	調査書
総合型選抜（大学入学共通テストを課す）	◎	大学入学共通テスト	◎	面接（口述試験を含む）	☆	面接（口述試験を含む）、調査書、自己推薦書
私費外国人留学生選抜	◎	日本留学試験	◎	個別学力検査（数学、理科、外国語（英語））、面接（口述試験を含む）	☆	面接（口述試験を含む）
国際バカロレア選抜	◎	成績評価証明書、自己推薦書、評価書	◎	成績評価証明書、自己推薦書、評価書	☆	成績評価証明書、自己推薦書、評価書

（注）◎は特に重視する要素、○は重視する要素、☆は総合的な判断となる要素

各要素に対する資料は、「主とする資料」であり、それ以外の要素でも活用する場合がある。

入学前に学習しておくことが期待される内容

入学後の学修のため、地球科学科では、以下の科目（理科については2科目以上）の内容を修得していることが望まれます。

【数学：数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C】

【物理：物理基礎、物理】、【化学：化学基礎、化学】、【生物：生物基礎、生物】、【地学：地学基礎、地学】

【外国語（英語）：英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ】